

シラバス（授業計画）

学科名	動物看護科					コース名	動物看護コース		
科目名	グルーミング実習						必修・選択必修の別		必修
実施期	1年	前期	54	時間	後期	54	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。	108 時間
	2年	前期	-	時間	後期	-	時間		
	3年	前期	-	時間	後期	-	時間		
担当講師	今井 恵美								
	実務経験	有	サロン/ペットショップでの実務経験、トリミングサロン経営歴有、研修/セミナー講師・ブリーディング（繁殖/育成/DogShow）複数のトリミング試験及びコンテスト審査員資格所持 養成機関教師資格所持						
授業概要	実習形式で行う。グルーミングに必要な基本作業を学ぶと共に正しい道具の使い方（シザー・クリッパーを含む）を確実に覚えさせる.同時に2年時に受験するAAVライセンスを意識させシザースキルも学ばせる。							授業形式	実習
到達目標	基本となるベイジングをはじめ、初歩のシザーワーク技術を正確に学ばせ2年次に受験するAAVライセンスに向けスムーズにトリミング実習に入れるレベルにまで向上させる事を到達目標とする。								
教科書・教材・服装等	ドッググルーミングマニュアル・自作テキスト・グルーミング道具・実習着								
授業計画時間数	授業内容								
1～6	自己紹介・道具の確認、使い方の説明・モデル犬の扱いの説明、施設・設備の説明								
7～12	モデル犬を使い道具の使い方のデモ（ブラッシング・爪切り・耳掃除）→実践実習								
13～18	ベイジングに必要な座学→コート短いモデル犬を使いベイジングデモ→実践実習（短毛種含む）								
19～24	プードルを使い座学とベイジング実践実習								
25～30	シーズーを使い短吻種の座学とベイジング実践実習								
31～36	プードル・シーズー以外のモデル犬を使いベイジング実習								
37～42	多犬種を使い基本のクリッパーワークのデモ➡実践								
43～48	多犬種を使いベイジング～クリッパーワーク実践実習								
49～54	多犬種を使い前期復習の実践実習～実習内ミニテスト（筆記）を行い前期の評価とする。								
55～60	多犬種を使い前期の復習								
61～66	多犬種を使い前期の復習・シザーの使い方デモ➡実践実習								
67～72	多犬種を使い基本のベイジング、シザーワーク								
73～78	多犬種を使い基本のベイジング、シザーワーク								
79～84	多犬種を使い前期								
85～90	多犬種を使い前期の復習、技術レベルの確認→個々に合った復習指導								
91～96	多犬種を使い前期の復習、技術レベルの確認→個々に合った復習指導								
97～102	シザーで足回り目頭カットのデモ→実践実習								
103～108	プードル以外の犬種を使い基本となるベイジングの工程を後期の評価とする								
成績評価方法	・出席率					定期試験		筆記試験	
	・実技模擬試験や小テスト						○	実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率90％以上・実技模擬試験や小テスト85点以上・平常点 優れている							
	B評価	出席率89％～85％以上・実技模擬試験や小テスト80点以上・平常点 優れている							
	C評価	出席率84％～80以上・実技模擬試験や小テスト70点以上・平常点 やや劣る							
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合							